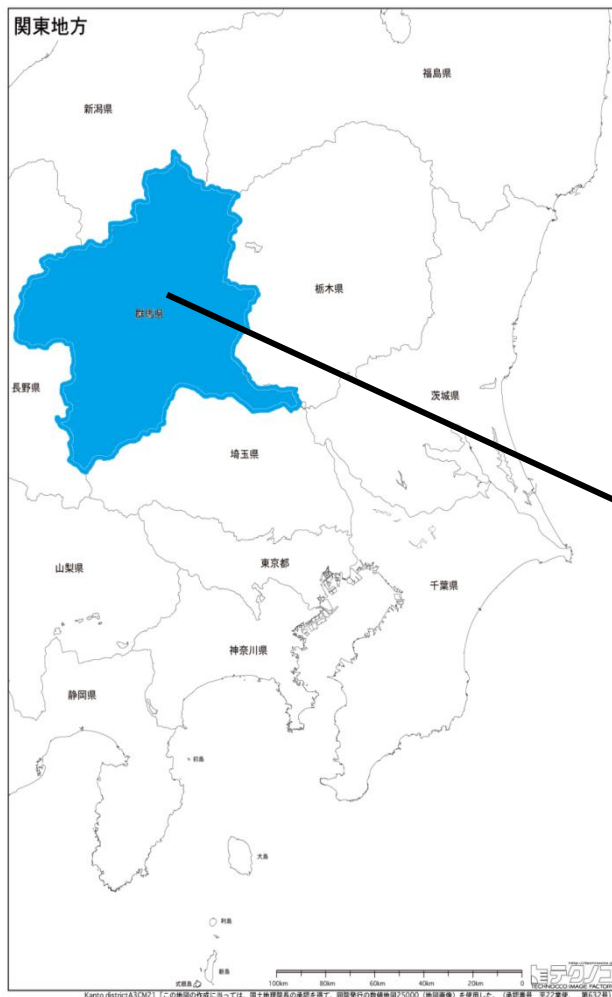


在宅医療連携拠点事業における 訪問看護ステーションまつかぜの取り組み



社会医療法人 輝城会
訪問看護ステーションまつかぜ
在宅医療連携拠点室 田島 譲



群馬県における 沼田市と利根郡の位置・面積



各市町村面積

沼田市:443.37km²

みなかみ町:780.91km²

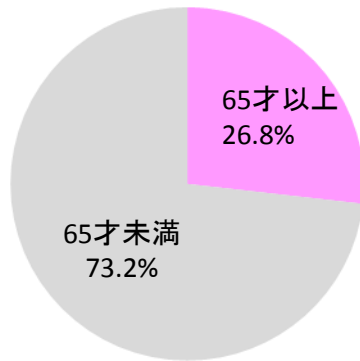
片品村:392.01km²

川場村:85.29km²

昭和村:64.17km²

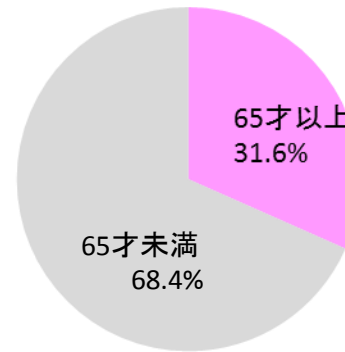
沼田市と利根郡町村の人口・高齢化率

沼田市



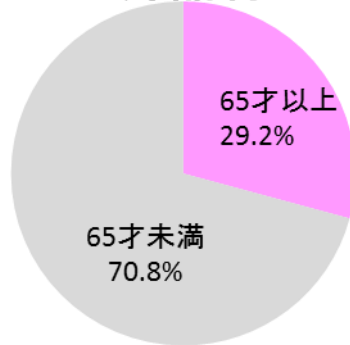
総人口 : 51,310 人
高齢者人口 : 13,752 人
高齢化率 : 26.8 %

みなかみ町



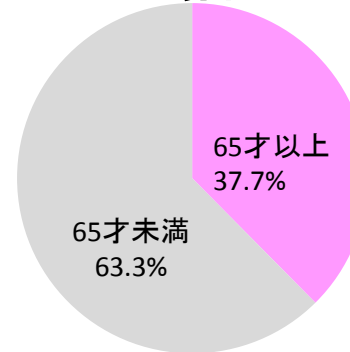
総人口 : 21,336 人
高齢者人口 : 6,746 人
高齢化率 : 31.6 %

片品村



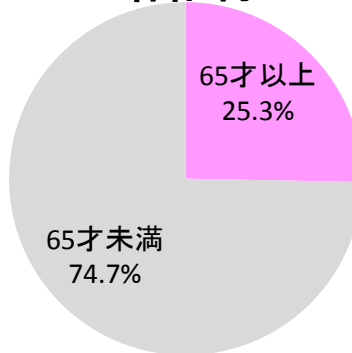
総人口 : 4,899 人
高齢者人口 : 1,431 人
高齢化率 : 29.2 %

川場村



総人口 : 3,906 人
高齢者人口 : 1,468 人
高齢化率 : 37.7 %

昭和村



総人口 : 7,612 人
高齢者人口 : 1,930 人
高齢化率 : 25.3 %

参考資料

「利根沼田地区保健福祉の指標」 利根沼田保健福祉事務所H23.8月末現在³

○ 沼田市と利根郡(5市町村)行政および関係機関へ 今回のモデル事業についての説明に訪問する

平成24年 6月から7月に訪問した関係機関

- ・行政関係機関: 8か所
- ・地域包括支援センター: 5か所
- ・在宅介護支援センター(沼田市のみ): 5か所
- ・医療機関(相談室含む): 9か所
- ・沼田利根医師会
- ・沼田利根歯科医師会
- ・沼田利根薬剤師会
- ・群馬県医師会
- ・訪問看護ステーション(サテライト含む): 6か所

○ 在宅医療連携拠点事業説明を主な目的として

平成24年7月28日に在宅医療連携拠点事業講演会を実施

1. 「最近の在宅医療の動向」

厚生労働省 在宅医療推進室長

平子 哲夫 先生

2. 「終末期の在宅医療の経験23年」

日本ホスピス協会 会長(小笠原内科院長)

小笠原 文雄 先生

医療・介護・行政関係者約200名参加



○ 平成24年8月・9月の事業活動

沼田市・利根郡の訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・高齢者入所施設へ医療依存度の高い方の受け入れ(対応)、多職種の連携についてのアンケートを実施。アンケートについては関係機関へ持参し事業目的を含め説明し手渡しの形をとる。

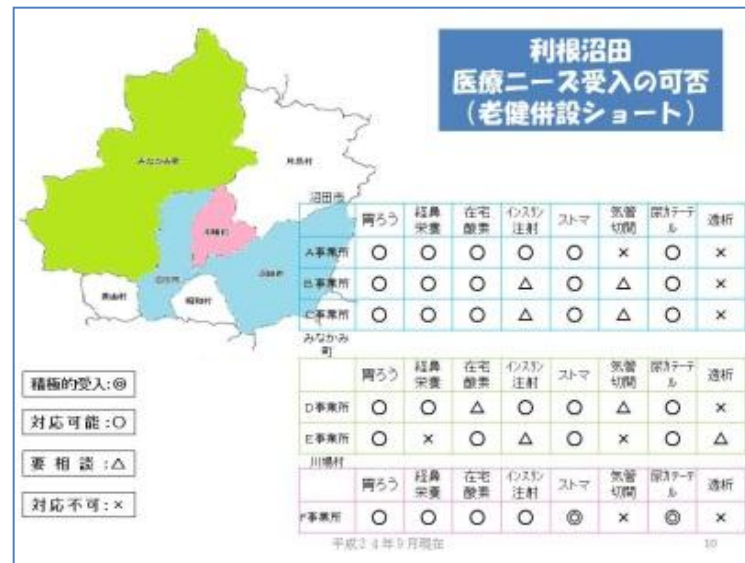
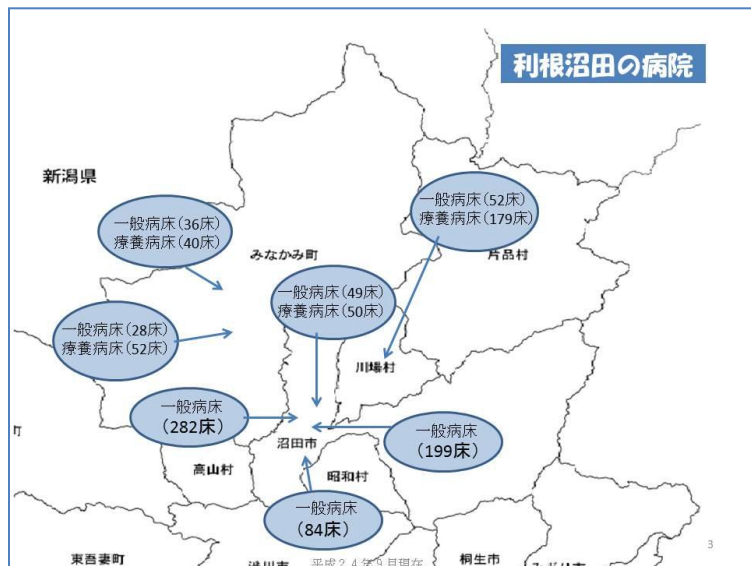
依頼した事業所は次の通り。

- ・訪問看護ステーション(サテライト含む): 6事業所
- ・居宅介護支援事業所: 19事業所
- ・訪問介護事業所: 26事業所
- ・高齢者各施設: 36事業所

アンケートは、依頼した全事業所より回収できた。

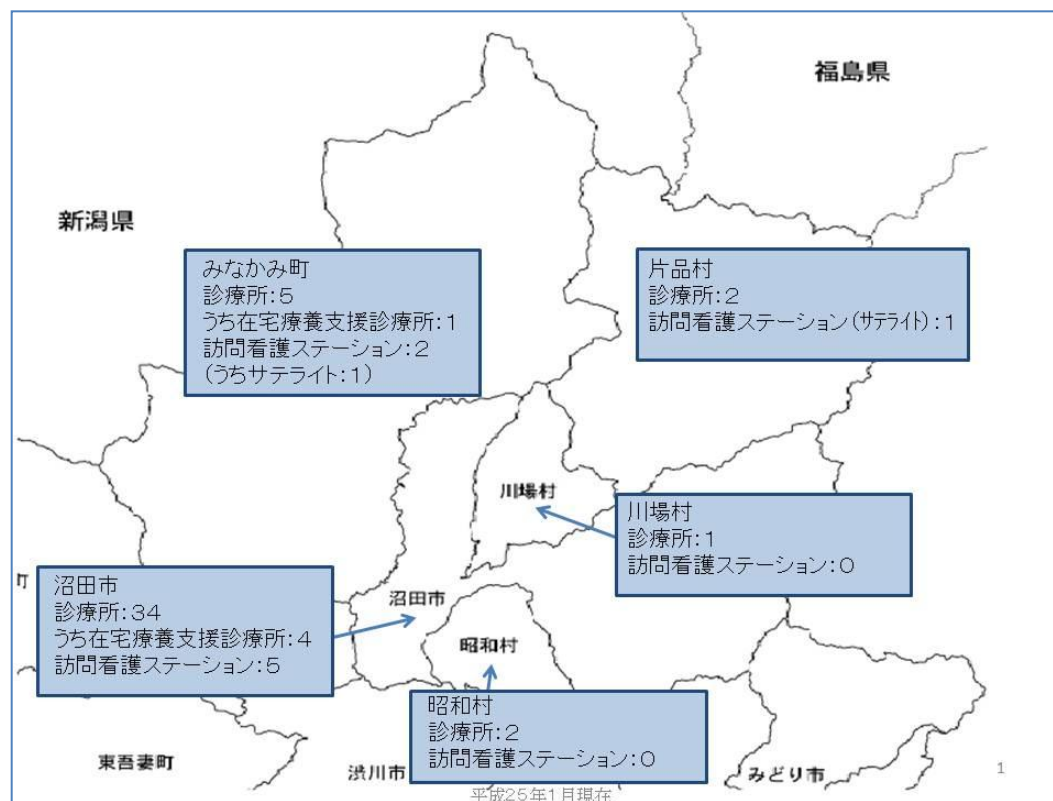
沼田市・利根郡は、過去にいくつかの資源マップが作成されていたが、拠点事業として、改めて医療・福祉資源把握のため、マップを作成。

作成した資源マップの例



○ 沼田市・利根郡の訪問看護事業所、 在宅療養支援診療所の分布

- ・訪問看護ステーションは7事業所中、5事業所が沼田市に集中している。
- ・沼田市・利根郡には44診療所があり、その中で在宅療養支援診療所の届出を行っている診療所は、5診療所である。また、その5診療所は沼田市とみなかみ町である。



○ 見えてきた課題 1

市町村行政:

- ・事業に協力してくれる部署や、人が明確にない
- ・医療担当窓口があいまい

地域包括支援センター:

- ・要支援のケースについてしか動いていない

地域のかかりつけ医:

- ・医師の高齢化
- ・往診医が限られている
- ・医師間のコミュニケーション不足
- ・病院勤務の若手医師は地域の医師会に入っていない

○ 見えてきた課題 2

訪問看護ステーション:

- ・24時間対応をすべての事業所ができていない
- ・移動の距離が長くすぐに駆けつけられない（冬季は積雪が多い）
- ・医材を出してもらえない

地域住民:

- ・核家族化
- ・老老介護
- ・広い土地で人を雇っての農業で1日中家族が不在
- ・周囲(近所)からの目
- ・自宅で面倒みられないなら入院をしたほうが体裁が良い

病院職員(医師、看護師、MSWなど):

- ・在宅サービスの活用方法がわからない
- ・介護力が少ないと転院になりやすい

○ 訪問看護ステーションの意見交換会を開催

第1回目を平成24年9月24日に開催
初回は6事業所より26名の参加があった。

＜参加者の感想＞

沼田市・利根郡の訪問看護同士の話し合える場ができてよかった。
日頃悩んでいることが多かったが、共有できる機会が作れてよかった。

訪問看護ステーションの意見交換会の様子



○ 在宅医療相談会への発展

第1回目の意見交換会にて、在宅医療相談会の開催を提案。
各ステーションの看護師が月1回交代制で参加。



毎月第3金曜日の午後5時～午後7時に実施している。
看護師以外の専門職の参加もある相談会となっている。

専門職による在宅医療相談会の様子



○ 沼田市・利根郡において在宅医療に関わる 行政関係者会議を開催

5市町村の在宅医療に関わる行政関係者 8名

群馬県医務課 1名

群馬県介護高齢課 4名

- ・これからの在宅医療について
- ・在宅医療を進めるにあたっての、各行政としての課題
- ・看取りについての課題の共有



○ 顔の見える関係づくり会議の開催

平成24年12月17日に実施 参加者：75名

参加職種：

医師、歯科医師、MSW、介護支援専門員、行政職員、
病院事務職、地域包括支援センター職員、理学療法士、作業療法士
言語聴覚士、介護福祉士、施設管理者、訪問看護師、病棟・外来看護師
歯科衛生士

関係者同士の自己紹介と、「この地域で在宅医医療を進めるにはどのような
問題や課題があるか」のテーマでグループワークを実施

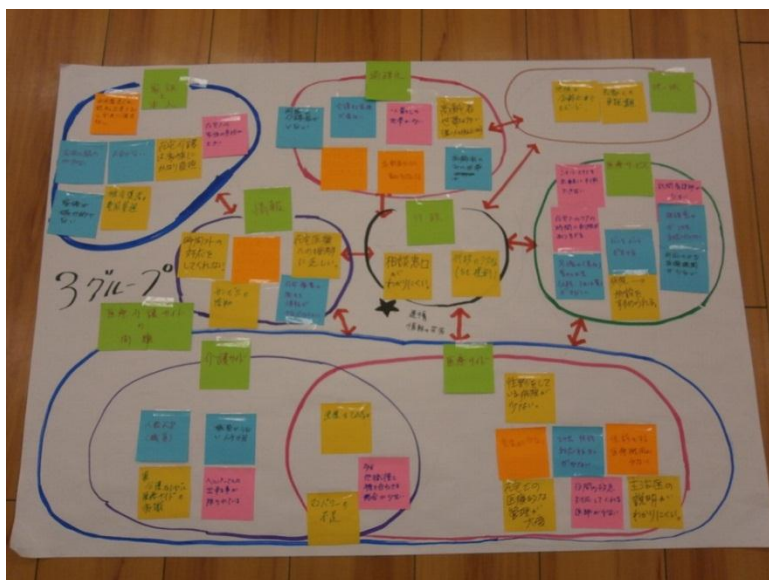


○ 顔の見える関係づくり会議の開催

＜参加者の感想＞

- ・多職種の人との情報交換の場となった(多職種の連携はとても大切だと思う)
- ・今回出た問題点に対する連携会議の設定
- ・グループワークによる問題抽出は楽しめながら行えた
- ・今後もこのような機会を設定していただきたい

グループワークのまとめ



その他の活動 1

* 沼田利根歯科医師会協力による口腔ケア勉強会の開催



* 市民公開講座を開催

「在宅医療推進健康講座～病気や障害があっても住みなれた地域で暮らしたい～」



* 在宅医療連携拠点室便りの発行

在宅医療連携拠点室だより

平成24年度 厚生労働省 在宅医療連携拠点事業

第3号
訪問看護ステーション
まつかぜ
在宅医療連携室
2012年12月1日 発行

1. 「市民公開講座」多くの市民の方が参加！大盛況でした！

11月23日（祝）の午後2時より、沼田市ディランにて市民公開講座を開催いたしました。当日は小雨の降る肌寒い天候にもかかわらず230名余の参加者に来ていただきました。私達の参加者が集まっていただけのかとの心配をよそに、開場13時にはご年配のご夫婦からはじまり、その後も続々と市民の方がご来場され満席となりました。市民公開講座はプログラムに沿って順調に進められ、一般演題は「利根沼田地域 在宅医療連携拠点事業の活動報告」として、これから向える在宅医療について活動内容の説明を行い、次に「在宅医療を支える訪問看護ステーションの取り組み」として、訪問看護についての説明と、利根沼田地域の訪問看護ステーション管理者の方より事業所紹介を行いました。特別講演の「狭心症・心筋梗塞の予防・診断・治療について」では沢山のスライドや映像を使いわかりやすく説明していただきました。

どの演題も市民の方は食い入るように見ておられ、うなずきや感嘆の声があがるなどありました。終了後のアンケートの中には「これから迎えるであろう明日に安心がもたら」「地域の訪問看護ステーションの活動報告は良かった」とや「森下医師の話も聞きとても勉強になった。参加してよかった」など多くの嬉しい意見が寄せられました。これらは今後のこの事業を行っていく事への大きな励みになりました。多くの方のご参加と、ご協力を紙面を借りまして感謝申し上げます。ありがとうございました。




市民公開講座の様子

2. 口腔ケア勉強会

平成24年11月27日（火） 沼田市保健福祉センターにて口腔ケア勉強会を開催しました。片野歯科医師の片野剛司先生から「チーム診療としての口腔ケア ～訪問診療をしてみよう～」、沼田クリニック歯科口腔外科の栗原淑文先生から「ADL・QOLを考慮した口腔ケア」についてと「入れ歯の平入れと口腔ケア」として歯科衛生士鈴木おきさん、大谷富佐江さんの勉強会でした。

92名の参加があり口腔ケアの必要性や、歯科もチーム医療であり連携が大切であると学びました。また、入れ歯の平入れでは部分入れ歯の外し方や入れ歯洗浄剤の取り扱い、お口の体操などすぐに実践できるものを紹介していただき、「とてもよい勉強になりました。定期的に開催してほしい。」との意見がありました。




片野先生・栗原先生
鈴木さん・大谷さん

3. ご案内

☆ 在宅医療訪問歯科診療ネットワークのご紹介

<http://www5.kannet.ne.jp/~ntda/houmonnet.htm>

極度の高齢化社会に移行している利根沼田地区において、在宅医療ももちろん病院や特別養護老人ホームに代表される老人施設などへの訪問診療の必要性が高まりつつあります。また、呼吸器肺炎の予防はもちろんのこと、心血管系や糖尿病などへの影響や、要介護者や介護者のQOLの改善等のためには、口腔環境と口腔機能のより良い維持・改善が必要であることは皆様のご承知のとおりです。しかしながら、「往診を行っている歯科医師が判らない」、16kmを超えて往診は出来ないといわれている「16km制限」など様々な問題を抱えていることも事実です。そこで、沼田利根沼田地区でも地域の歯科診療を支えるべく訪問歯科診療ネットワークを立ち上げ、会員の歯科医師の派遣はもちろん、情報交換を行いながら、それらの諸問題に対応していきます。ご質問等でも結構ですので、何かありましたら歯科医師会へお問い合わせ下さい。

連絡先・お問い合わせ先
（社）沼田利根沼田医師会
片野剛司先生（片野歯科医院）
住所：みなみ町湯宿温泉606
電話番号：0278-64-0413

☆ 在宅医療相談会にきてみませんか？

- 自宅でのリハビリってどんなことするの？
- 内服薬について聞きたい
- 在宅医療について聞きたい
- 食品、とろみ剤など紹介

「看護士を始め、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のほか、在宅医療メーカーさんも来ています。毎週、相談会ではなく、お茶を飲みながら座談会となっています。皆さんもおしゃべりとお茶を飲みながらしゃべりませんか？」

顔の見える関係づくり会議で「日頃の思い」を！！

平成24年12月17日（月曜日） 午後6時30分～ 沼田市保健福祉センター4階にて

利根沼田地域において、在宅で療養生活をするためには沢山の課題があると思います。医師を始め様々な職種の方が集まる場所を提供することで、顔が見え相談しやすくなることを一番の目的とし、その次はこの地域で療養するためにはどのような課題があるのか、今後どのような事が必要となっているのかなどを話し合いたいと思っています。グループワークは本当に簡単な形式をとらせていただきます。問題となっていることを遠慮無く付箋に書き出し、小さなまとまりを作るという形式です。それらの付箋に書かれている問題をまとめ、今後この地域の在宅療養を考えるきっかけとしたいと思っています。短い時間ですので、是非皆様参加して、日頃の課題を付箋に書き出し、皆様の思いを吐き出してみませんか？（参加希望は遠慮無くご相談下さい）

☆～関係づくり～ 11月23日利根沼田小ホール。ディランでの最終集議。その忙しい合間にふっとよめるのは、市民の方に来てくれるだろうという心配。午後1時30分の開演には思いのほか人の集まりがよい。終了時には協力してくれたスタッフの明るい笑顔があった。やって良かった。市民公開講座で沢山の集客をもらいました。ありがとうございました。



〒379-0053
沼田市東原町1549-1
電話 0278-254411
FAX 0278-254412
e-mail zai@ntda.jp / naka@ntda.jp

○ 今後の展開

- 顔が見える関係づくり会議で築かれた話しやすい関係を、信頼できる関係作りに発展させるため、今後も定期的な開催を実施する
- グループワークで抽出された課題を再検討し、解決のための方法を協議していく
- 在宅医療を推進するには医師（医師会）の協力が不可欠。地道に医師への協力を求めている
- 地域の職能団体と協働で勉強会を行い、効率的に団体同士の繋がりを構築し、強化していく
- 地域の人に在宅療養のあり方を、引き続き伝えていく
- 訪問診療や訪問看護などの効率的な連携を推進するため、ICTを利用した連携システムの構築に取り組む